



KONICA MINOLTA

News Release

コニカミノルタとアメニディ 機密情報管理・配信サービスで協業

～ LINE®を使った「Cybele Safe Message®」サービスを自治体へ ～

2022年7月11日
コニカミノルタ株式会社
株式会社アメニディ

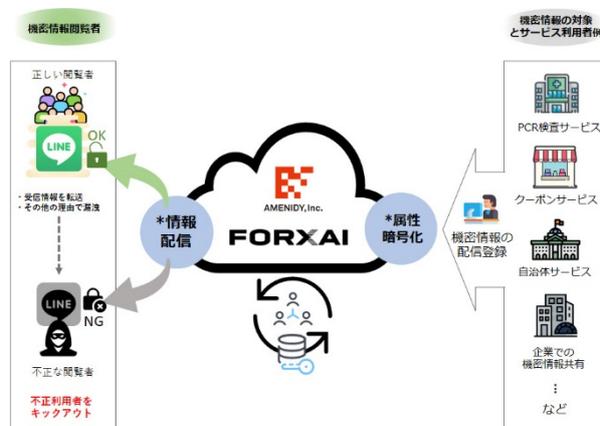
コニカミノルタ株式会社（本社：東京都千代田区、社長：大幸 利充、以下 コニカミノルタ）と株式会社アメニディ（本社：愛知県名古屋市、代表取締役CEO：山村 雅典、以下 アメニディ）は、この度、機密情報管理・配信サービスで協業することにいたしました。両社で開発した機密情報配信サービス「Cybele Safe Message®（キュベレー・セーフ・メッセージ）」の提供を、アメニディが2022年8月より開始します。

【機密情報配信サービス「Cybele Safe Message」について】

近年、スマートフォンをはじめとしたモバイルツール・サービスの普及とともに、個人情報や会社情報などを、機密性を保持した状態で、社会のあらゆるところで活用する必要性が高まっています。これに対して両社は、自治体からの各種クーポン提供や、PCR検査の結果通知などに利用できる、LINE®を使った安心で安全な通知配信を行う機密情報配信サービス

「Cybele Safe Message」を開発しました。

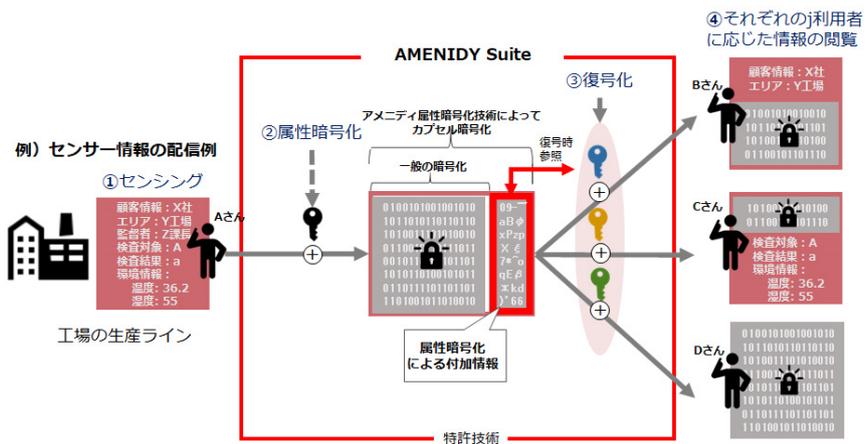
今回の協業では、アメニディの属性暗号技術・アクセス管理技術を、コニカミノルタの画像IoTプラットフォーム「FORXAI（フォーサイ）」が保有している機密情報管理機能と連携させることで、スマートフォンやモバイルを利用した個人向けの安全・安心な情報配信サービスを実現させました。



【アメニディの次世代暗号技術について】

アメニディは「セキュリティと利便性の両立」、「攻めるセキュリティサービス」をコンセプトに、次世代暗号技術で構築したプラットフォーム技術「AMENIDY Suite（アメニディ・スイート）」をデータビジネス向けに応用しクラウドサービスを提供しています。

アメニディの次世代暗号技術は、複数の暗号化した情報群に対して、閲覧者の属性ごとに開錠範囲が決められた固有の鍵を提供します。これにより、複数の暗号化された情報を見る場合でも、一人が持つ鍵は1つで良く、従来の閲覧者の権限に合わせた複雑な情報アクセスの仕組みが不要になります。



【コニカミノルタの画像IoTプラットフォーム「FORXAI」について】

コニカミノルタは、顧客やパートナー企業とともに社会のDXを加速させる画像IoTのプラットフォーム「FORXAI」を運営し、これを活用して、世界中の働く現場の進化や安全・安心な社会の実現を目指しています。

「FORXAI」は、エッジデバイスとクラウドをセキュアかつ容易に連携し、データ管理とAI処理を実行させるための技術群であるIoT共通基盤「FORXAI IoT Platform」を保有しており、主な機能のひとつに、アカウント管理やセキュリティー担保などビジネスアプリケーション構築の支援機能があります。この技術をアメリディの暗号化技術と組み合わせることでデータビジネス向けの本格的なプラットフォームを構築し、機密情報管理・配信サービスの基盤としてアメリディへ提供します。

【「Cybele Safe Message」の活用事例】

<クーポン配信の例>

事業者、自治体など、クーポンを配布する側は、それが一部の使用者に集中したり、不正に使用されることを懸念しています。本サービスでは、クーポンの不正転送、漏洩による不正利用を属性暗号化による情報アクセスコントロールによって、クーポンの使用回数を制限することによって一部のユーザーに利益が集中することがなくなります。不正使用に対してはサービスからキックアウトできます。

<PCR検査の例>

PCR検査結果の連絡には、LINE経由で暗号化された検査結果が配信され、これとは別に鍵データが配信されます。第三者が暗号化された検査結果を不正に取得しても、不正者の取得した鍵では解錠できませんので検査結果のプライバシーが保たれます。また鍵の取得、復号化（閲覧）の履歴から情報閲覧のトレーサビリティも備えていますので、「検査サービスの開始、終了」のワークフローの監視にも役立ちます。

今後両社は、協業のシナジーをさらに高めると同時に、自社の強みをさらに強化し、より良い価値をお客さまに提供してまいります。

----- 報道関係お問い合わせ先 -----
 コニカミノルタ株式会社 広報部
 担当：北 070-3669-8853
 新（アヲシ） 080-9367-7008